

この度は、重量ラック(パレットラック)SPG型をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この組立・取扱説明書を必ずお読みのうえ、下記の注意事項をお守りいただき、正しくご使用ください。
また、本書はお読みになった後も大切に保管してください。

警告

誤った取扱いをした場合、死亡または重傷を負う可能性が生じることが想定される内容を示しています。

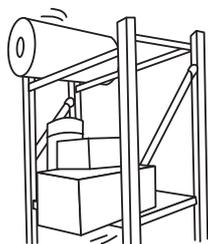
● 棚に登らないでください

ラックの転倒、転落等、怪我や事故の原因となります。



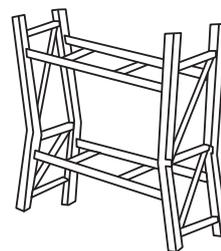
● 不安定な収納はしないでください。

荷崩れ、荷物の落下等、怪我や事故の原因となります。



● 異常を発見したまま使用しないでください。

ラックの転倒、荷物の落下等、怪我や事故の原因となります。



注意

誤った取扱いをした場合、障害を負う可能性および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

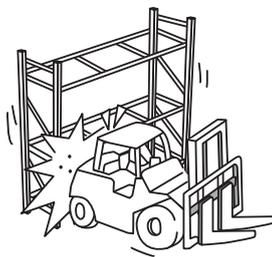
● フォークリフトでビームを持ち上げないでください。

ビーム、サブビームの外れ、ラックの転倒、荷物の落下等、怪我や事故の原因となります。



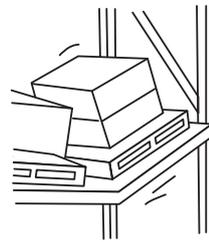
● ラックに衝撃を与えないでください。

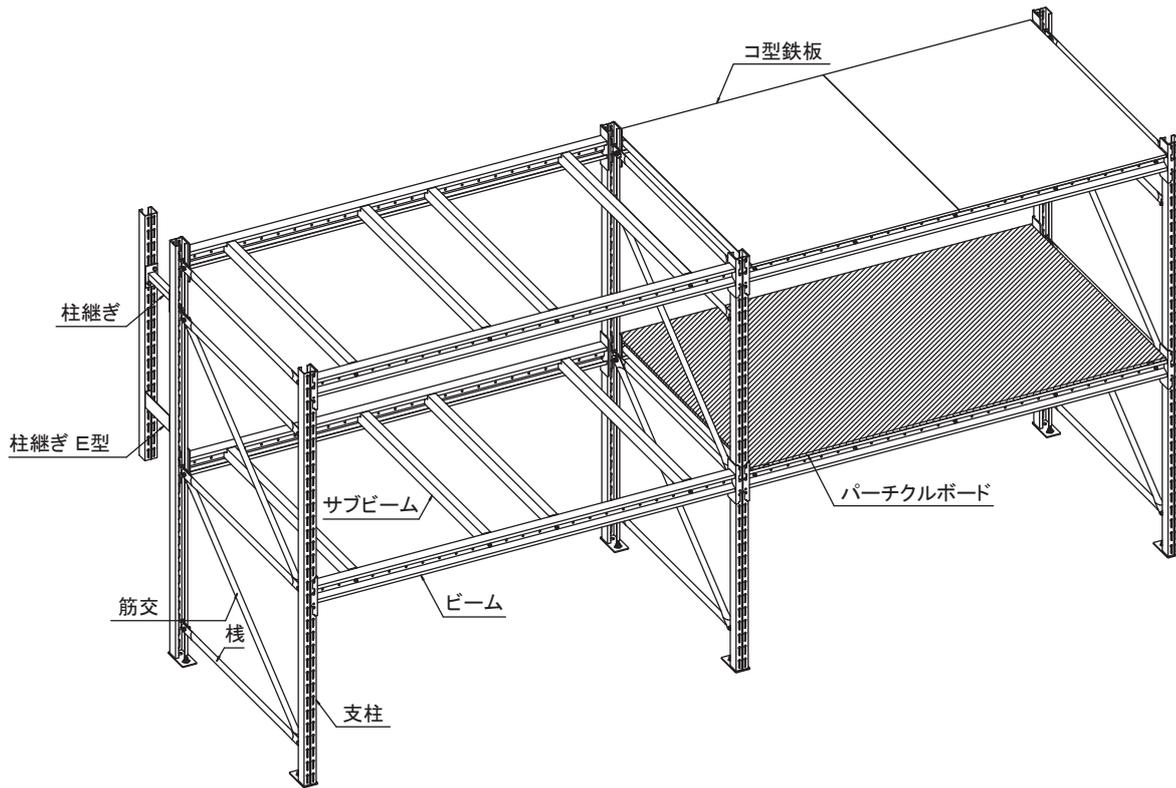
ラックの転倒、荷物の落下等、怪我や事故の原因となります。



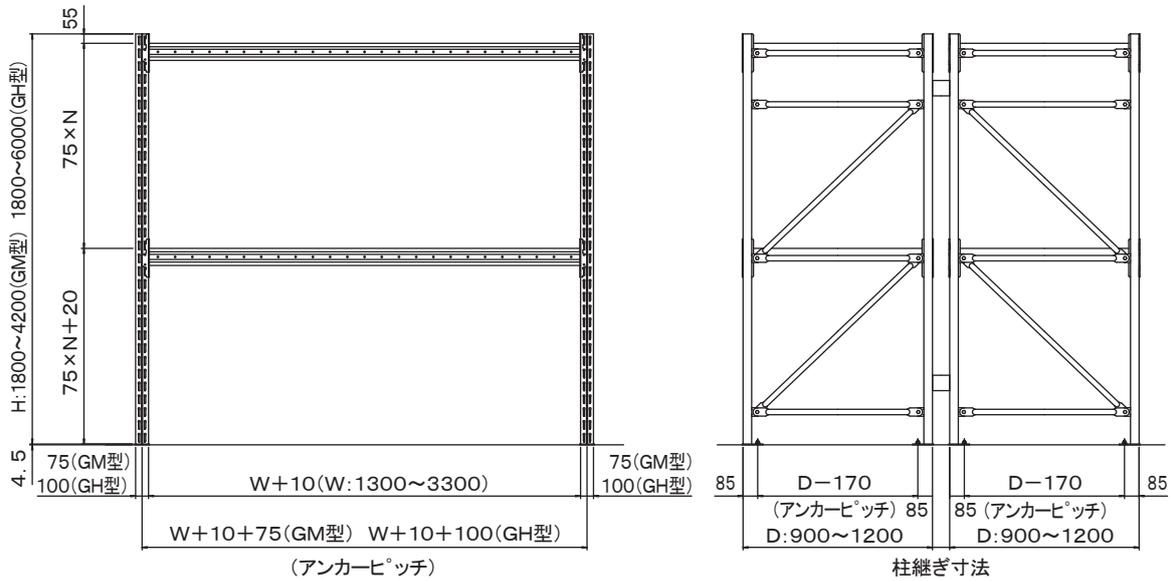
● 最大積載質量以上の積載はおやめください。

ビームが変形、破損、落下する恐れがあり、荷物の落下等、怪我や事故の原因となります。



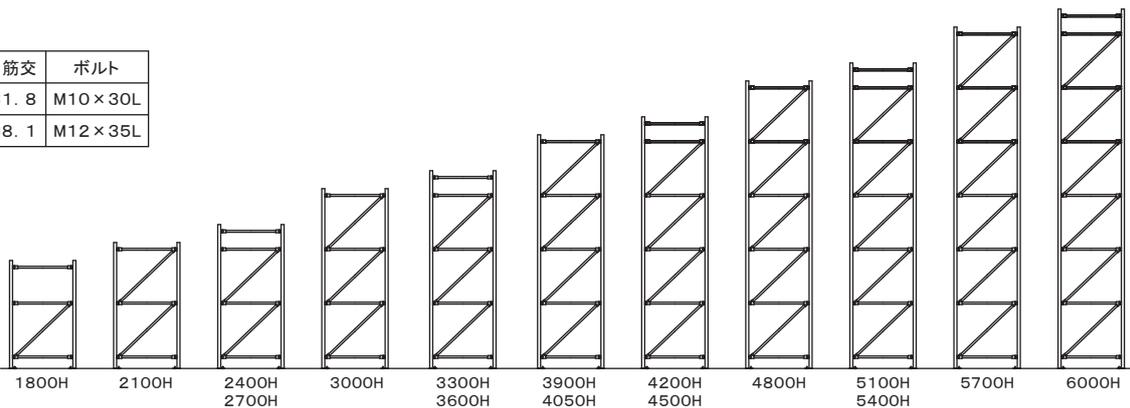


基本寸法

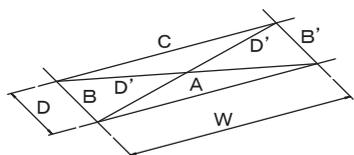


支柱パネル組立図

	椽・筋交	ボルト
GM型	φ31.8	M10×30L
GH型	φ38.1	M12×35L



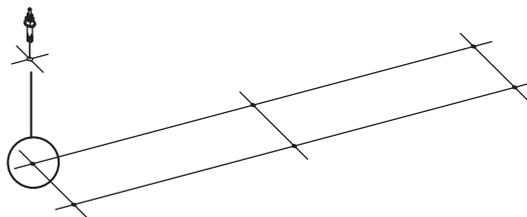
1 墨出し(アンカー芯)



設計図に基づいて床面に基準線Aを引きます。
次にA線に垂直なB線とB'線を引きます。
続いてA線に平行なC線を引きます。
対角D'線で平行と直角の確認をします。

W:間口アンカーピッチ ラック柱芯寸法
D:奥行アンカーピッチ ラック奥行-170mm

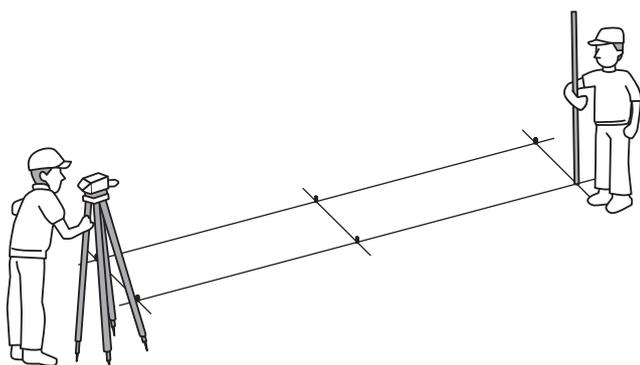
2 アンカー打込み



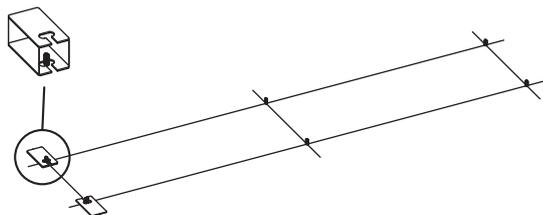
ドリル径φ12.7のハンマードリルを使用して、基準線の
交点全てに深さ50mmの穴をあけます。

※標準のアンカーはM12×70L
穴内のコンクリート粉を工業用掃除機で除去します。
アンカーを穴に差込み、芯棒が本体の頂部に達するまで
ハンマーで打込みます。

3 床レベル測定・調整

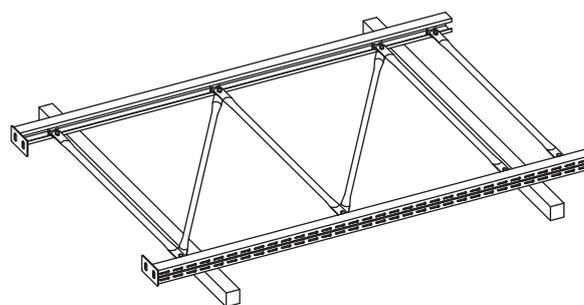
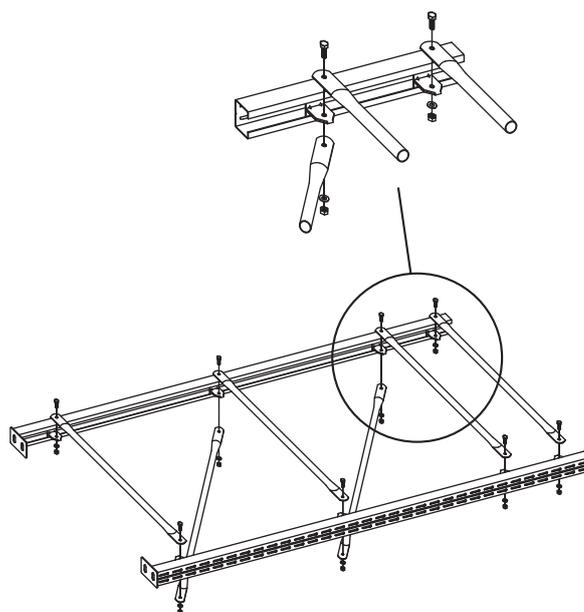


全てのアンカーが見える位置にレベル測定器を設置して、
全てのアンカー位置の上に標尺を立ててレベル測定器で
測定した目盛りの数値を設計図に記入します。
測定後、床の一番高いところ(測定値が一番小さいところ)
を基準として各測定値との差を計算します。
この数値が支柱ベース下に入るライナーの厚みになります。



ライナーを各アンカー位置に配布します。
ライナーの厚みは3.2mmです。
ライナーの厚みがレベル差が一番近い数値になるように
数量を調整してください。

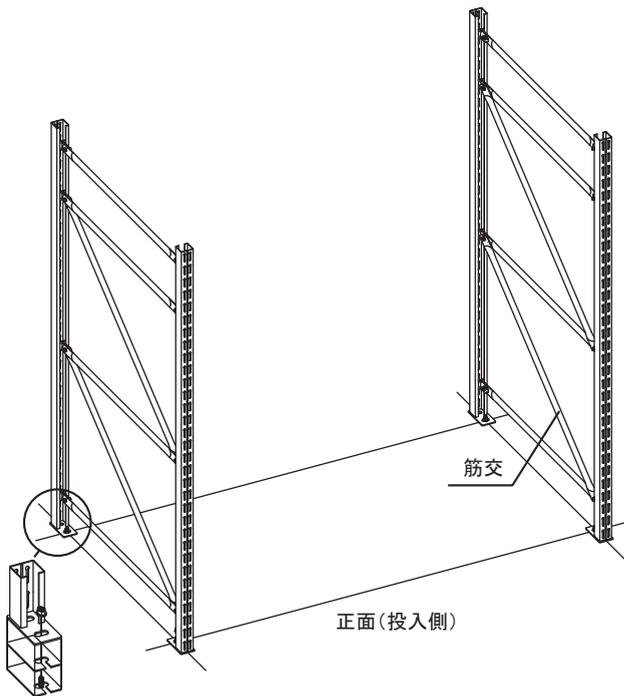
4 支柱パネルの組立



枕木の上に支柱2本を横にして置きます。
棧、筋交をボルトナットワッシャーで取付します。

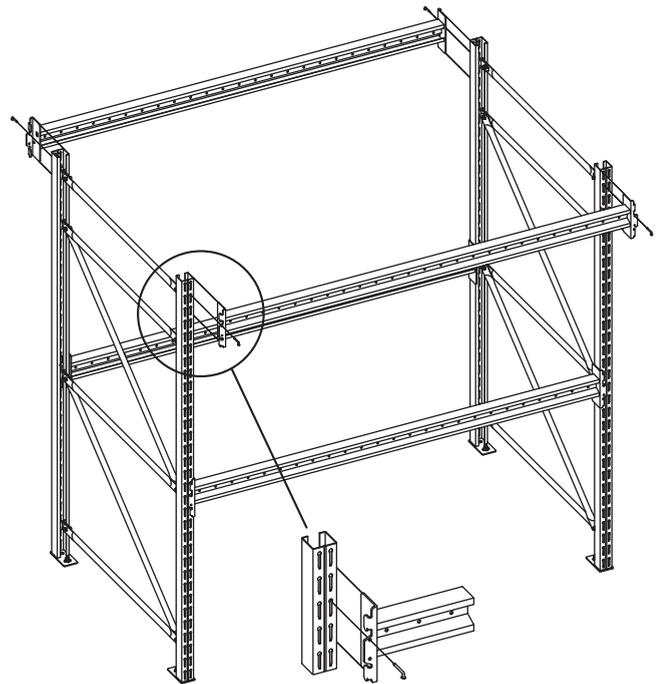
取付ボルト GM型 M10×30L GH型 M12×35L

5 支柱パネルの設置



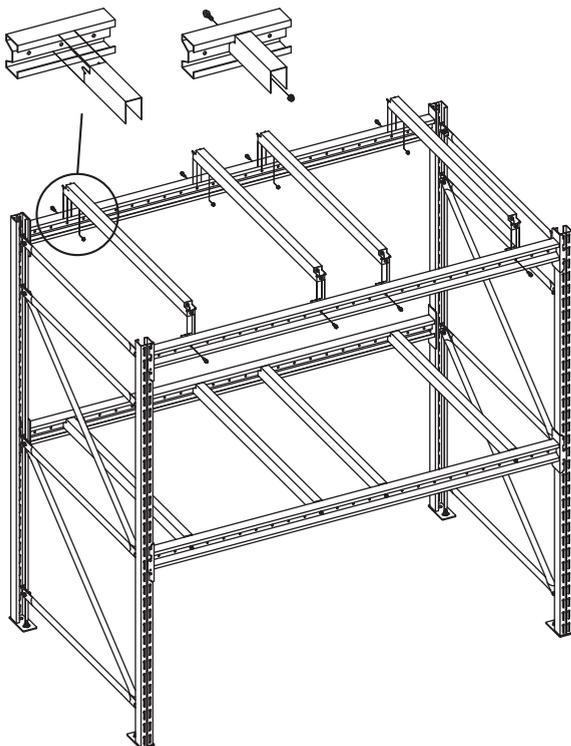
1枚目の支柱パネルを基準線に沿って起こして、筋交が正面(投入側)に下がった状態でベース部をアンカーで固定します。固定するまでは人手で支えたり、クレーン、フォークリフト等で転倒防止の処置を行ってください。2枚目の支柱パネルも同じ要領で設置してください。

6 ビームの取付



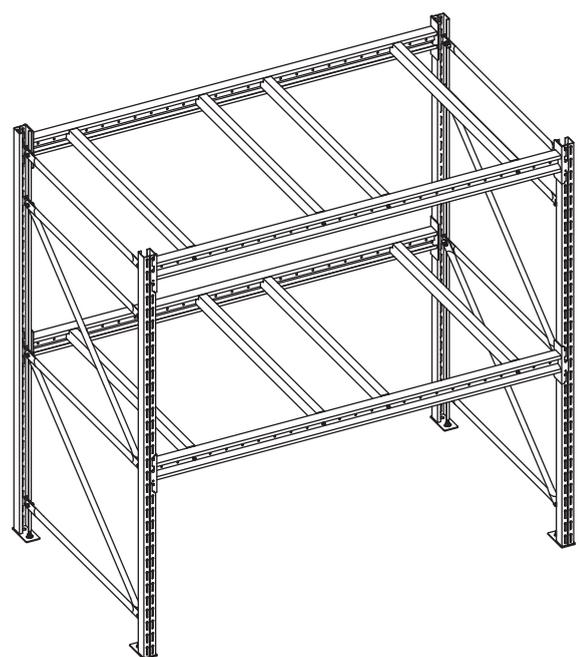
ビーム片側のコネクター爪を支柱パネル正面穴に差し込み結合します。次に、反対側のコネクターも同様にします。ビーム上面を木ハンマーで叩き確実に打ち込み、最後に必ず安全ピンをコネクターの穴に差し込んでください。※ビームは下段から取付けてください。

7 サブビームの取付



ビーム正面の穴に、サブビーム取付穴を合わせてフランジボルトナット M8×20Lで取付します。仮止めが完了したら本締めしてください。

8 完成

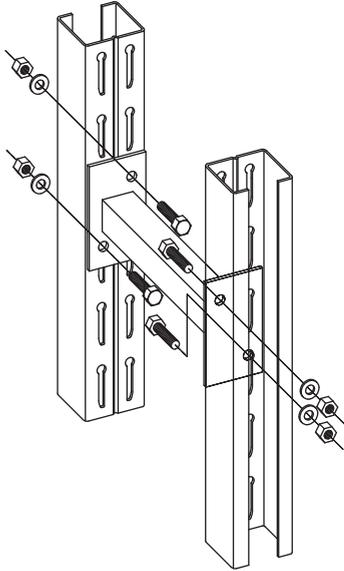


組立が終わりましたら、各部の組付の確認、安全ピンの差し忘れ、ボルトの締め忘れがないかどうか最後に確認してください。

オプションの取付

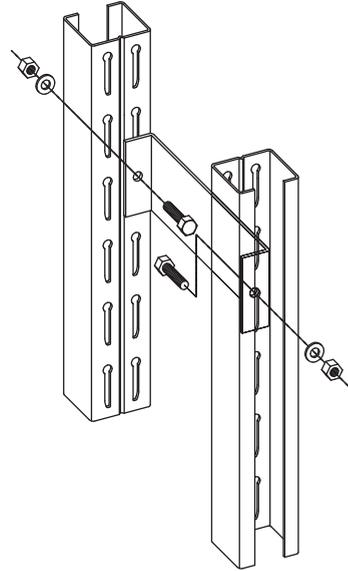
重量ラック(パレットラック)SPG型

柱継ぎ (M・H型) の取付



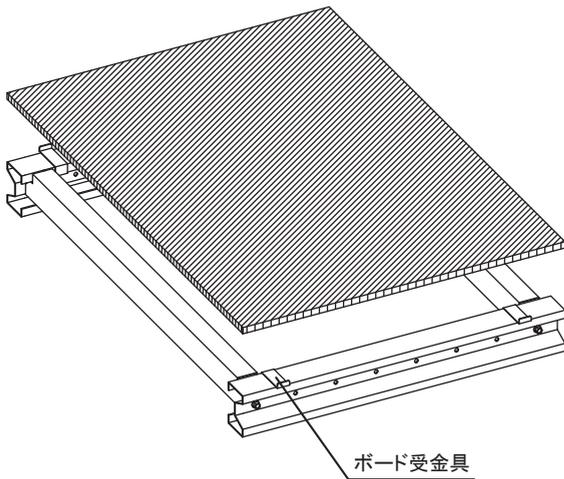
背中合わせのラックを連結するために、柱継ぎをラック支柱正面穴にボルトナットワッシャーM10×30Lで固定します。
ラックの背面間隔を保つとともに、奥行方向の安定性が増します。

柱継ぎ (E型) の取付



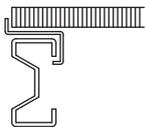
背中合わせのラックを連結するために、柱継ぎをラック支柱正面穴にボルトナットワッシャーM10×30Lで固定します。
ラックの背面間隔を保つとともに、奥行方向の安定性が増します。

パーティクルボードの取付



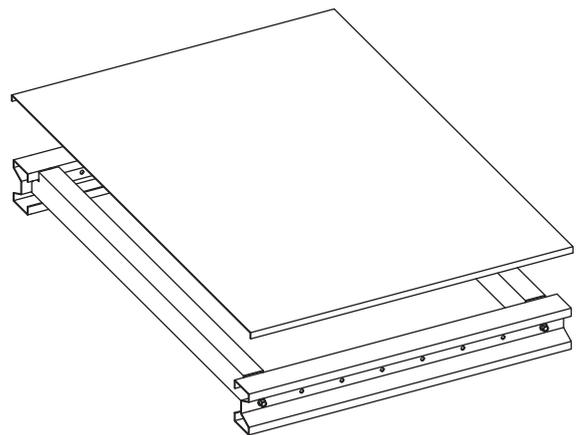
ボード受金具

断面図



ビーム上面にボード受金具を取付して(ボード1枚につき4ヶ使用)、その上からボードを敷きます。
バラ物や小荷物を収納する場合に使用します。

コ型鉄板の取付



ビーム上面に被せて取付します。
バラ物や小荷物を収納する場合に使用します。



搬入・組立時のご注意

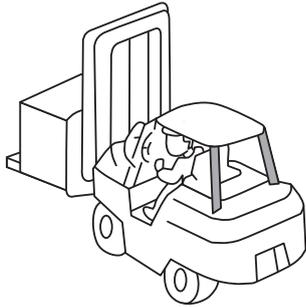
重量ラック(パレットラック)SPG型



搬入・組立を行う際には必ず以下の事項をお守りいただき安全第一で作業してください。

- フォークリフト使用时には、運転免許保持者が運転を行い、安全に注意してください。

ラック部材を搬入、組立時にフォークリフトを使用する時には、必ず周囲の安全を確認し事故が起きないように注意してください。



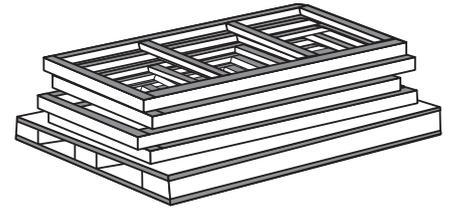
- 素手で作業を行わないでください。

ラック部材の取扱い時は、必ず滑り止めの付いた手袋を着用してください。部材が重量物につき、手から滑り落とす等怪我の原因となります。



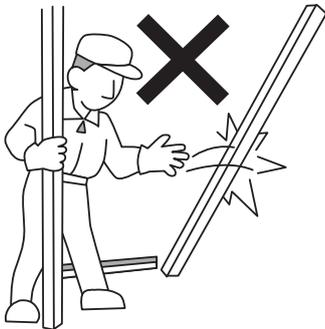
- 部材の保管はパレット、または角材の上に置いてください。

ラック部材の破損、傷がつかないように注意して保管してください。



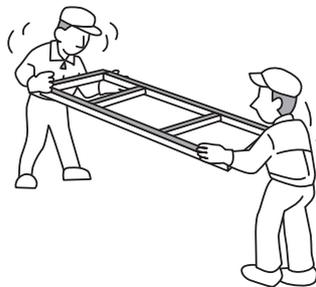
- 部材の取扱いは丁寧にしてください。

ラック部材を持ち運ぶ時には、部材を投げる、乱暴に扱うことなく丁寧に取扱いしてください。



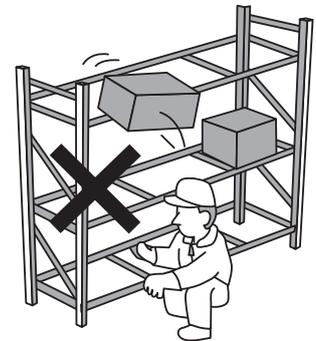
- 重量物、長尺物は2人以上で持ち運んでください。

支柱、ビーム等の重量物、長尺物を持ち運ぶ時には、部材の破損、事故を防ぐことに注意して必ず2人以上で行ってください。



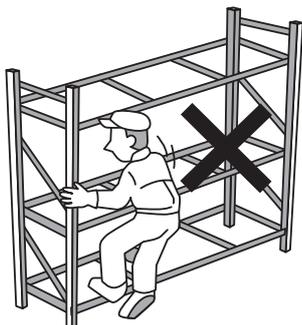
- 組立を行う時には周囲の安全に注意してください。

ラックの組立時は、落下物や足元に注意して怪我や事故のないように作業してください。



- 組立を行う時には製品の上に乗らないでください。

ラックの組立時に部材の上には乗らないようにしてください。ラックの転倒、転落等、怪我や事故の原因となります。



- ビームの取付位置変更は1人で行わないでください。

ビームの落下による部材の破損、転倒等、怪我や事故の原因となりますので必ず2人で作業を行ってください。



- 組立時に出了ゴミ、残材は現場に残さないようにしてください。

ラック組立時に出了ゴミ、残材等は所定の場所に捨てるか持ち帰ってください。

